



CHIBA BASKETBALL ASSOCIATION

701 NishifunaSkyMansion, 14-18-4, Nishifuna, Funabashi-shi, Chiba-Ken 273-0031, Japan

TEL : +81-47-401-1581 FAX : +81-47-401-1781 E-mail : chiba.basketball@cbba.jp

2026年4月20日

関係者 各位

一般社団法人千葉県バスケットボール協会
専務理事 大野 健 男
〈公印省略〉

懇親会等における指導者の言動および綱紀の保持について（注意喚起）

日頃から、本協会の諸活動に対し、格別のご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、年度替わりの時期を迎え、卒団式や各種行事の後に懇親の機会を持たれるチームも多いことと存じます。こうした場合は、日頃の活動を支えてくださる保護者の皆様や選手及び指導者相互の関係を深める貴重な機会であると認識しております。

他方で、懇親の場においては、気持ちの高まりや飲食の影響等により、意図せず言動が行き過ぎてしまうことが起こり得ます。とりわけ指導者の言動は、場の雰囲気や参加者の安心感に大きな影響を及ぼすことから、より一層の配慮が求められます。

つきましては、下記の点について改めてご確認いただき、各現場において徹底いただきますようお願いいたします。

記

【留意事項】

- (1) 懇親会等、公式活動外の場においても、指導者としての立場と責任が伴うこと
- (2) 飲酒を伴う場に未成年の選手を同席させることは、環境面・安全面の観点から適切とは言い難く、原則として控えること
(やむを得ず同席させる場合には通常時以上に節度を意識すること)
- (3) 選手との身体的接触（スキンシップ）については、受け手の感じ方に個人差があることを前提に、慎重に対応すること
- (4) 「問題とならないか」ではなく、「相手にどのように受け止められるか」という視点で自らの行動を顧みること

特に、指導者と選手の関係は、年齢差や立場の違いから、受け手側が違和感や不快感をその場で表明しにくい構造にあることを、改めて認識する必要があります。そのため、「その場で問題が顕在化しなかったこと」をもって適切であったと評価するのではなく、潜在的な受け止めも含めて行動を見直す姿勢が重要です。

こうした配慮は、子どもたちの安心・安全な環境を守るために不可欠であると同時に、指導者自身を守る観点からも極めて重要です。何気ない言動が誤解や不信を招くことのないよう、日常の指導場面に限らず、あらゆる場面において自律的な行動が求められます。

本件は特定の事案に基づくものではなく、指導環境のさらなる向上を目的とした一般的な注意喚起としてお示しするものです。各チーム内においてもご共有いただき、適切な指導環境の維持にご協力くださいますようお願い申し上げます。